

地域経済分析システム（RESAS）について

地域経済の「見える化」に向けた取り組み



令和2年11月5日

経済産業省 地域経済産業調査室

RESAS（地域経済分析システム）の概要

- 地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月より提供開始。
- 地域経済を活性化する上で、地域の現状・実態を正確に把握し、将来の姿を客観的に予測し、地域の実情・特性に応じた施策の検討とその実行が不可欠。
- そこで、地域経済に係わる様々なビッグデータを収集し、分かりやすく「見える化」するシステムを構築し、**効果的な施策の立案、実行、検証（PDCA）を支援**。勘や経験や思い込み（KKO）ではなく、**データに基づく政策立案（EBPM）を推進**。

①人口マップ



人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ



自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ



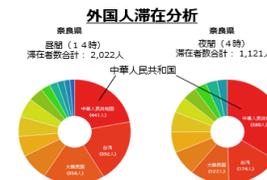
地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ



地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤観光マップ



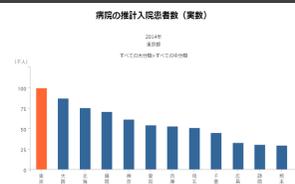
国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑥まちづくりマップ



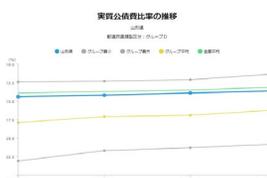
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報把握可能

⑦雇用/医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑧地方財政マップ



各自治体の財政状況が比較可能

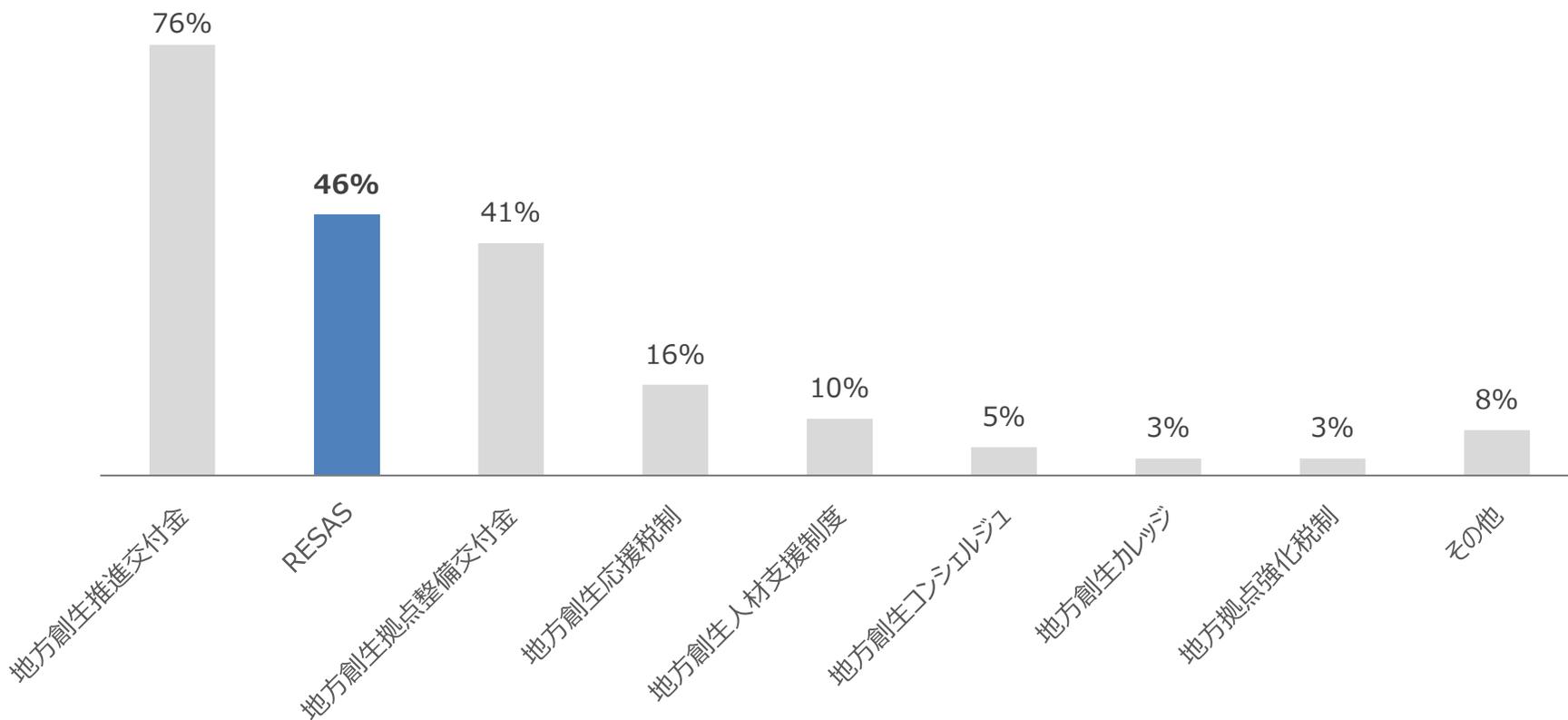
○総メニュー数の推移

スタート時 (2015年) → 現在 (2020年10月)
25メニュー → 81メニュー

これまでのRESASの評価①

- 役に立ったと感じている国の地方創生関連施策として、「地方創生推進交付金」に次ぐ約46%の自治体がRESASを挙げている。

役に立ったと感じている国の地方創生関連施策

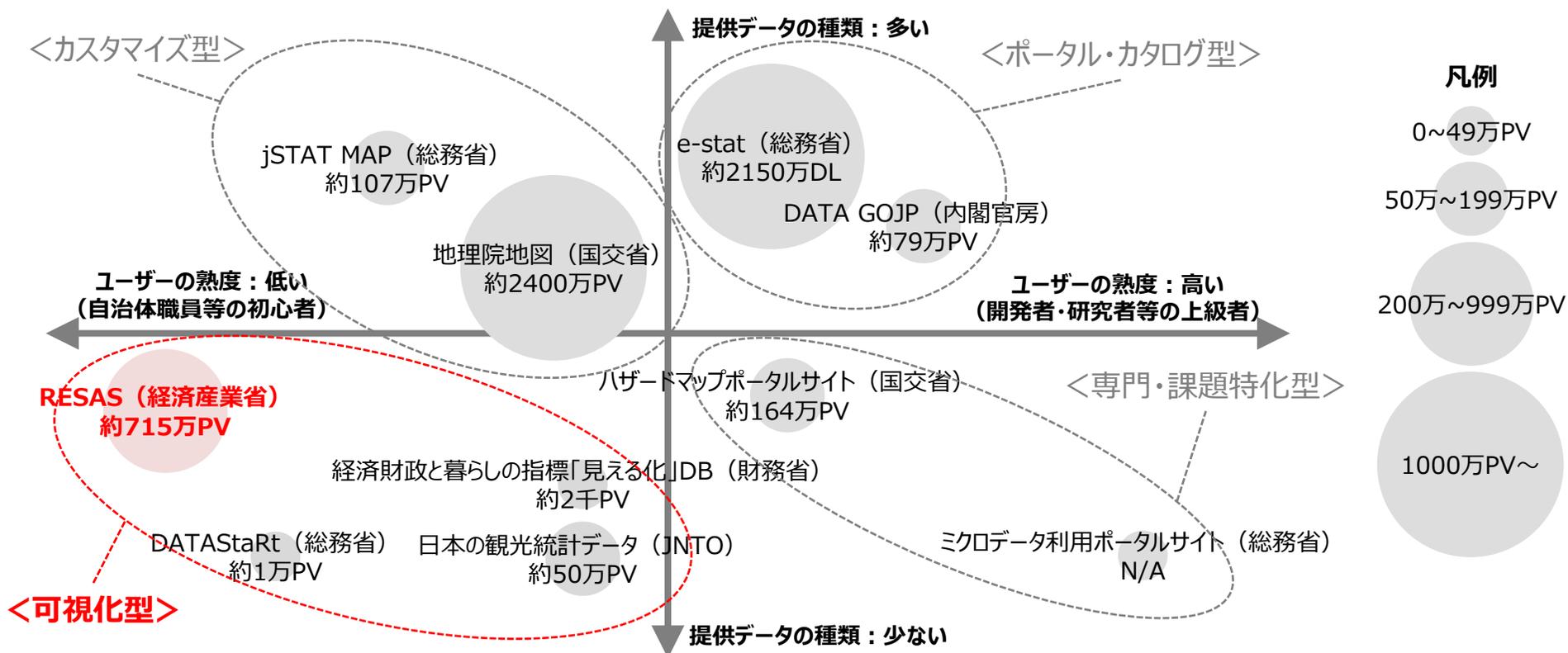


資料：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地方版総合戦略等の進捗状況等に関する調査結果（H31.3.27）」

これまでのRESASの評価②

- 政府が提供する主要なデータ利活用支援ツールを、ユーザーの熟度と提供データの多寡に応じて整理すると、RESASは、自治体職員をはじめとするデータ活用の初心者向け（可視化型）のツールとしては圧倒的なPV数（約715万PV）。

各ツールの位置づけ



資料：内閣官房「地方公共団体のデータ利活用に関する調査（令和2年3月）」より作成

RESASにおけるデータ・機能の拡充

- 地域の魅力ある資源をデータ化し、地方創生・地域経済活性化を情報面から支援すべく**データを拡充**。
- データ分析の「入り口」として誰もが簡単に使えるよう**操作性を高めるための機能を拡充**。

2015年～ RESASリリース

<地域経済が見える化>

- 地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月にリリース。（まち・ひと・しごと創生総合戦略2015改訂版）
- 4マップ25メニューから提供開始
 - 産業マップ
 - 観光マップ
 - 人口マップ
 - 自治体比較マップ

2016～2018年 マップ・メニューの拡充

<新設5マップ>

- 地域経済循環マップ
 - 地域経済循環図など
- 企業活動マップ
 - 海外取引・研究開発など
- まちづくりマップ
 - 建物利用状況など
- 雇用/医療・福祉マップ
 - 医療・介護需給など
- 地方財政マップ
 - 自治体財政状況の比較など

※リリース当初の「観光マップ」のまちづくりに関するメニューが「まちづくりマップ」へ派生。

※「自治体比較マップ」が「産業構造マップ」、「企業活動マップ」、「雇用/医療・福祉マップ」、「地方財政マップ」へ派生。

※産業構造マップは一次産業を拡充。

※観光マップはインバウンド分析を拡充

2019年～ 利用支援機能搭載

<新設3機能>

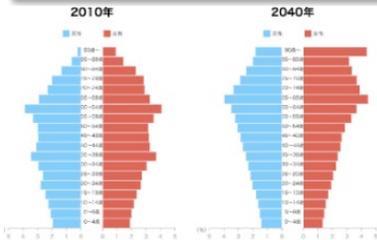
- サマリー機能
 - 地方公共団体単位でサマリーを表示。
- データ分析支援機能
 - 分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出。
- チャットボット機能
 - RESASの使い方や用語について、簡易に検索。

RESASの各種マップ

①人口マップ

拡充

人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出などが地域ごとに比較しながら把握可能に



②地域経済循環マップ

新規

自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能に

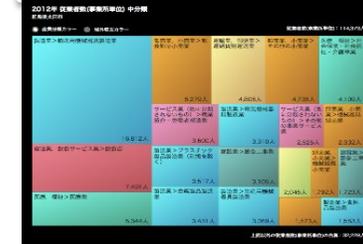


③産業構造マップ

拡充

売上や雇用で地域を支える産業が把握可能に

地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能に



④企業活動マップ

新規

地域の創業比率や黒字赤字企業比率が把握可能に

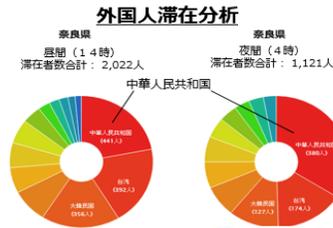
地域の特許や補助金採択企業の分布が把握可能に



⑤観光マップ

拡充

国籍別の外国人の滞在状況などのインバウンド動向や、宿泊者の動向などが把握可能に

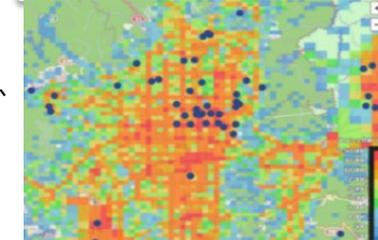


⑥まちづくりマップ

新規

人がどこに多く集まるのか、いつ集まっているのかを把握可能に

事業所の立地動向や不動産取引の状況などまちづくりの検討材料が取得可能に



⑦雇用/医療・福祉マップ

新規

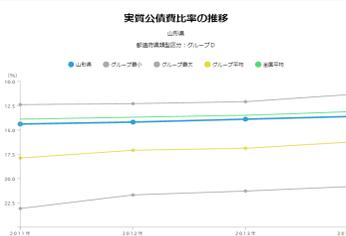
地域の雇用や、医療・介護を需要面や供給面から把握可能に



⑧地方財政マップ

新規

各自治体の財政状況が比較可能に



着実な利用の拡大

2015年度：約358万PV
約42万ユーザー



2019年度：約715万PV
約68万ユーザー

地域での活用事例も拡大

<旧 (リリース時) > “4つのマップ” 【メニュー】

1. 産業マップ

1-1 全産業花火図 ※

1-2 産業別花火図 ※

1-3 企業別花火図 ※

(参考) 地域経済分析 (都道府県・経済圏)

2. 人口マップ

2-1 人口構成

2-2 人口増減

2-3 人口の自然増減

2-4 人口の社会増減

2-5 将来人口推計

3. 観光マップ

3-1 メッシュ分析 (流動人口)

3-2 From-to分析 (滞在人口)

3-3 滞在人口率

4. 自治体比較マップ

4-1 経済構造

4-1-1 企業数

4-1-2 事業所数

4-1-3 製造品出荷額等

4-1-4 付加価値額

4-1-5 労働生産性

4-2 企業活動

4-2-1 創業比率

4-2-2 黒字赤字企業比率

4-2-3 従業者数

4-2-4 経営者平均年齢 ※

4-3 労働環境

4-3-1 有効求人倍率

4-3-2 一人当たり賃金

4-4 地方財政

4-4-1 一人当たり地方税

4-4-2 一人当たり市町村民税法人分

4-4-3 一人当たり固定資産税

※：国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ **新規**

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 産業構造マップ **新規**

- <全産業>
 - 3-1-1. 全産業の構造 (一部※)
 - 3-1-2. 稼働力分析
 - 3-1-3. 企業数
 - 3-1-4. 事業所数
 - 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
 - 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
 - 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)
- <製造業>
 - 3-2-1. 製造業の構造
 - 3-2-2. 製造業の比較
 - 3-2-3. 製造品出荷額等
- <小売・卸売業 (消費)>
 - 3-3-1. 商業の構造
 - 3-3-2. 商業の比較
 - 3-3-3. 年間商品販売額
 - 3-3-4. 消費の傾向 (POSデータ)
 - 3-3-5. From-to分析 (POSデータ)

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

4. 企業活動マップ **新規**

<企業情報>

- 4-1-1. 産業間取引 (※)
- 4-1-2. 企業間取引 (※)
- 4-1-3. 表彰・補助金採択
- 4-1-4. 創業比率
- 4-1-5. 経営者平均年齢 (※)
- 4-1-6. 黒字赤字企業比率
- 4-1-7. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

凡例

下線：リリース当初から追加したメニュー
赤字：民間データ利用
(※)：限定メニュー

5. 観光マップ

<国内>

- 5-1-1. 目的地分析
- 5-1-2. From-to分析 (宿泊者)
- 5-1-3. 宿泊施設

<外国人>

- 5-2-1. 外国人訪問分析
- 5-2-2. 外国人滞在分析
- 5-2-3. 外国人メッシュ
- 5-2-4. 外国人入出国空港分析
- 5-2-5. 外国人移動相関分析
- 5-2-6. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-2-7. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-2-8. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-2-9. 外国人消費の構造 (免税取引)

6. まちづくりマップ **新規**

- 6-1. From-to分析 (滞在人口)
- 6-2. 滞在人口率
- 6-3. 通勤通学人口
- 6-4. 流動人口メッシュ
- 6-5. 建物利用状況
事業所立地動向
- 6-6. 施設周辺人口
- 6-7. 不動産取引

7. 雇用/医療・福祉マップ **新規**

- 7-1. 一人当たり賃金
- 7-2. 有効求人倍率
- 7-3. 求人・求職者
- 7-4. 医療需給
- 7-5. 介護需給

8. 地方財政マップ **新規**

- 8-1. 自治体財政状況の比較
- 8-2. 一人当たり地方税
- 8-3. 一人当たり市町村民税法
- 8-4. 一人当たり固定資産税

①人口マップ (例：UIターン施策の検討)

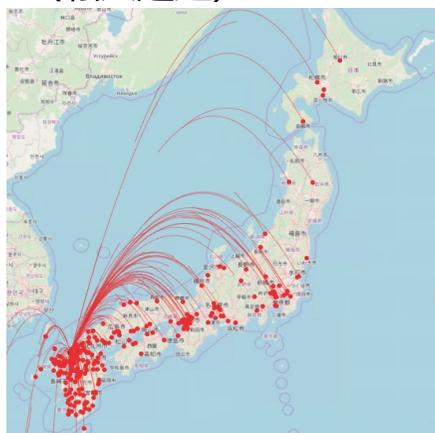
○自治体の転入・転出の状況に関連するデータを分析し、転出の多い地域や年齢、性別などを把握することで、より効果的なUIターン施策を検討することができる。出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

Q. 2019年における福岡県福岡市の転入超過、転出超過が一番多いのはどこでしょうか？

A. ①まずは花火図で視覚的に確認。

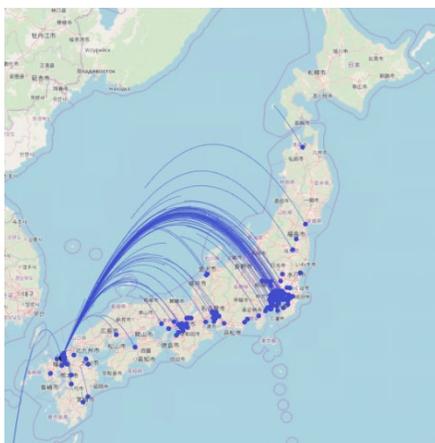
②ではどれくらい多いかグラフで見てください。

(転入超過)



九州内からの転入超過が多い。

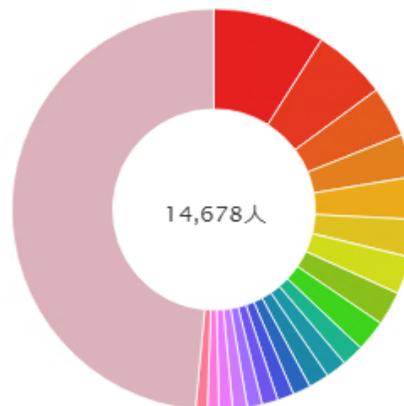
(転出超過)



首都圏への転出超過が多い。

転入超過数内訳

総数

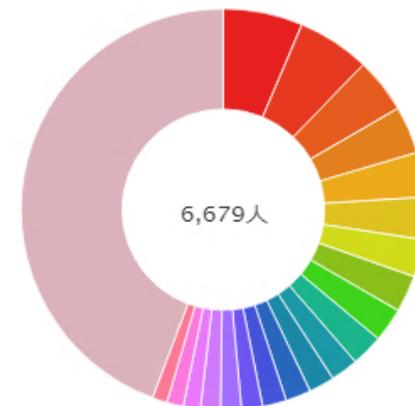


- 1位 福岡県北九州市 1,313人 (8.95%)
- 2位 長崎県長崎市 866人 (5.90%)
- 3位 熊本県熊本市 599人 (4.08%)
- 4位 長崎県佐世保市 505人 (3.44%)
- 5位 鹿児島県鹿児島市 504人 (3.43%)
- 6位 福岡県久留米市 446人 (3.04%)
- 7位 大分県大分市 445人 (3.03%)
- 8位 佐賀県佐賀市 399人 (2.72%)
- 9位 宮崎県宮崎市 368人 (2.51%)
- 10位 広島県広島市 257人 (1.75%)

上位9位までは九州内。

転出超過数内訳

総数



- 1位 福岡県糸島市 425人 (6.36%)
- 2位 福岡県福津市 388人 (5.81%)
- 3位 埼玉県さいたま市 295人 (4.42%)
- 4位 大阪府大阪市 256人 (3.83%)
- 5位 東京都練馬区 240人 (3.59%)
- 6位 神奈川県川崎市 227人 (3.40%)
- 7位 神奈川県横浜市 201人 (3.01%)
- 8位 東京都世田谷区 198人 (2.96%)
- 9位 東京都大田区 183人 (2.74%)
- 10位 福岡県新宮町 171人 (2.56%)

九州外も多くランクイン。

③産業構造マップ (例：地域の稼ぐ力を分析する)

○地域ごとの各産業における付加価値額について、特化係数を用いることで、強みのある産業を分析することができる。
 ※特化係数：域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較し、1.0を超えると全国よりも特化している産業と言える。

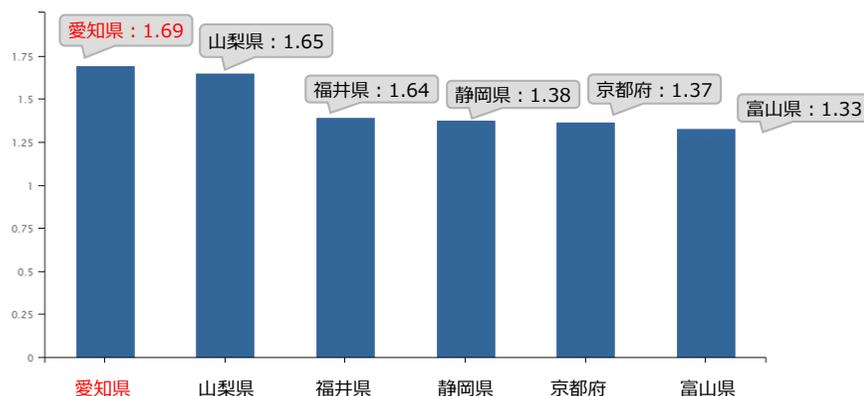
Q. 日本国内の産業でもっとも付加価値額を生み出している産業とその都道府県はどこでしょうか？

A. ①まずは全国の製造業の付加価値額を確認。

②次に製造業の付加価値額の特化係数を確認。



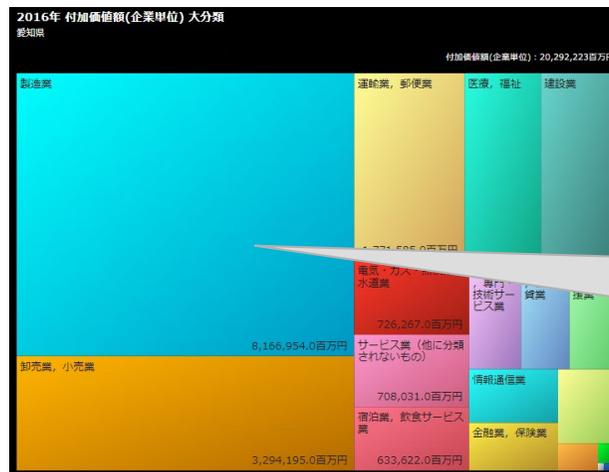
都道府県別分布 (全国)



やはり**製造業**がもっとも付加価値額が高い。

愛知県の製造業の付加価値額は、日本の製造業の付加価値額の約**12パーセント**を占めている。

③では最も特化する愛知県の付加価値額を確認。

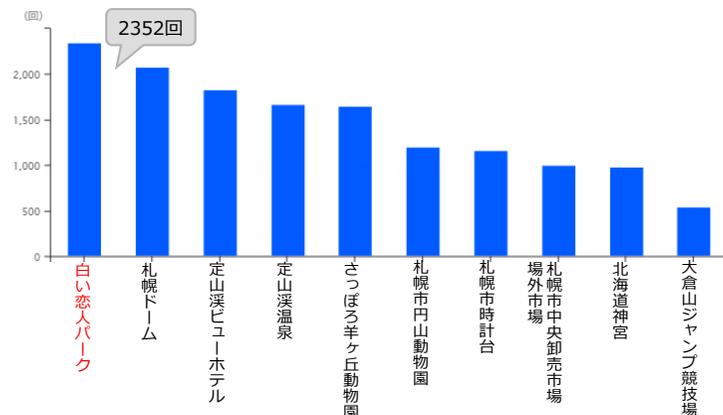


⑤観光マップ (例：目的地の検索数で分析)

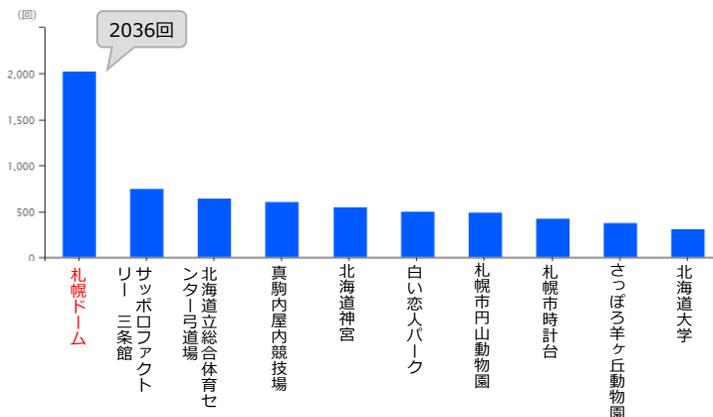
○観光地の検索回数や出発地を分析することで、どの観光施設やどの地域に対して観光PRを重点的に展開するべきかの検討に活用することができる。出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

Q. 2018年中の休日に北海道札幌市で最も検索されたところはどこでしょうか？

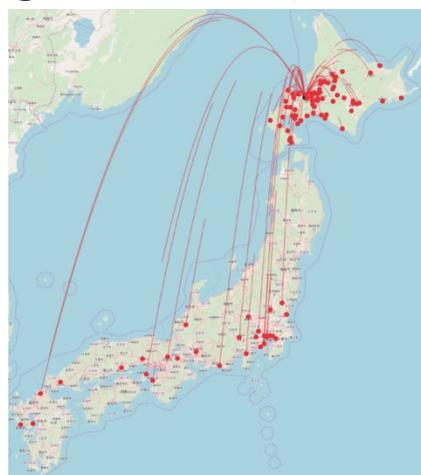
A. ①まずは自動車で見てください。



③続いて公共交通で見てください。



②次にどこから来ているか見てみましょう。

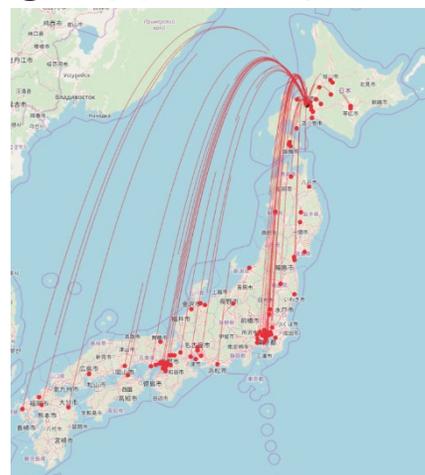


※2018年度

考察

- 北海道は自動車社会？
- 近くに公共交通がない？
- 近距離からの検索が多いので車での周遊観光の一環？

④今度どこから来ているか見てみましょう。



※2018年度

考察

- 目的は野球？サッカー？コンサート？
- 東京や大阪からの来訪者（検索数）が多い？

RESAS利用支援機能_①サマリー

- RESASに搭載されているデータやグラフについて、**テーマに応じたサマリー（概要）を地方公共団体単位でダウンロード**できる機能。他地域との合算や比較も可能。※一部合算されないグラフあり

【サマリー機能>表示地域・サマリーデータを選択】

【作成可能なサマリーデータ】

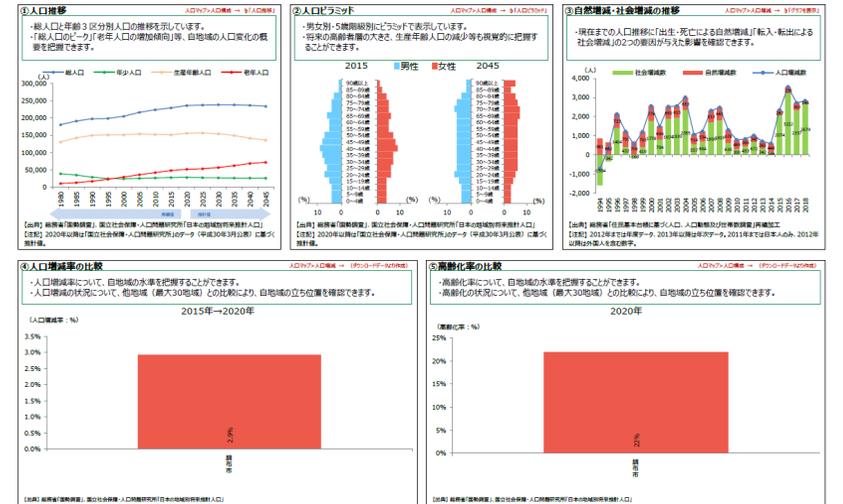
○総論

- ◆人口(人口の推移を年齢階級)別に概観)
- ◆産業(産業に関する傾向を、事業所数、従業者数の推移や、構成比等により概観)

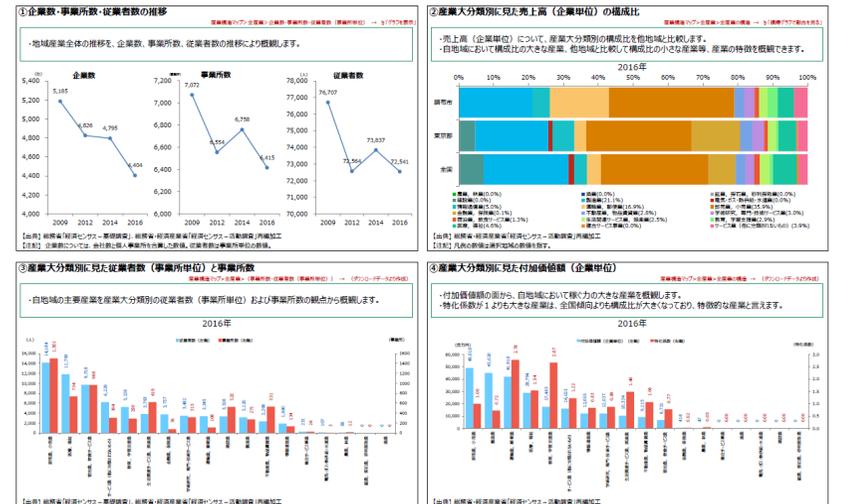
○各論

- ◆人口増減・地域間流動(転入転出、通勤通学等)による人口流動を概観)
- ◆産業特性(地域の各産業の特徴を、規模・稼働力等の側面から概観)
- ◆観光(観光客の状況を、訪問客数・消費額等の観点から概観)
- ◆雇用(一人あたり賃金や、有効求人倍率等から、地域の雇用の特徴を概観)
- ◆医療・福祉(医療数・病床数・介護施設数等の供給水準の面から地域の特徴を概観)
- ◆地方財政(各種財政指標等から地方財政の特徴を概観)

総論① 人口 地域を考える基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を概観します。 東京都調布市



総論② 産業 地域産業に関する全体的な傾向を、事業所数、従業者数、産業大分類別構成比等により概観します。 東京都調布市



RESAS利用支援機能_②データ分析支援

- RESASに搭載されている多くのデータや分析グラフの中から、分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出して順に表示。各画面には、グラフの見方等、分析を支援するためのコメントも表示。

【データ分析支援機能>分析対象自治体を選択>分析テーマを選択】

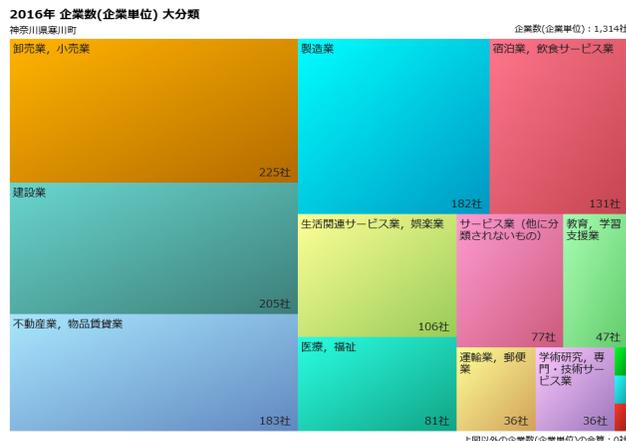


【分析テーマ】

- 人口対策
- 第二次産業・第三次産業
- 外国人観光客

(他のテーマについては検討中)

第二次産業・第三次産業における分析



①全産業の全体像

指定地域における、以下の産業別割合を表示。

<企業単位>

- 企業数
- 従業者数
- 売上高
- 付加価値額

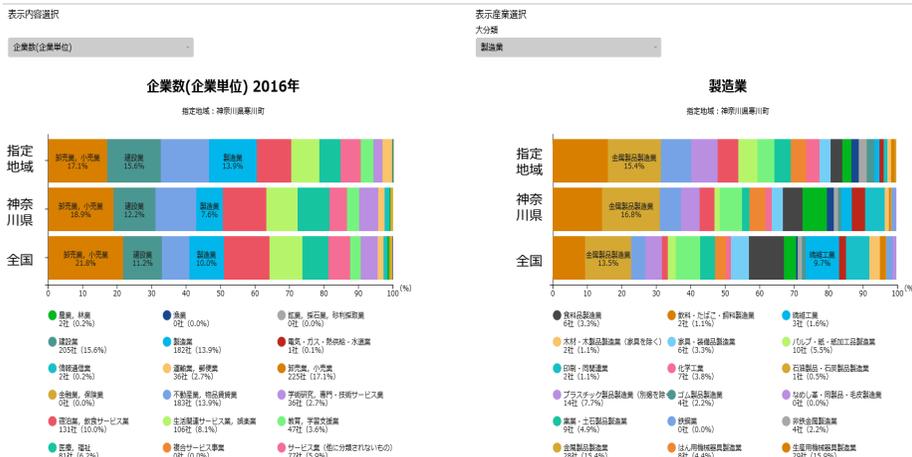
<事業所単位>

- 事業所数
- 従業者数

自地域の経済を支える主要産業等を特定することができます。

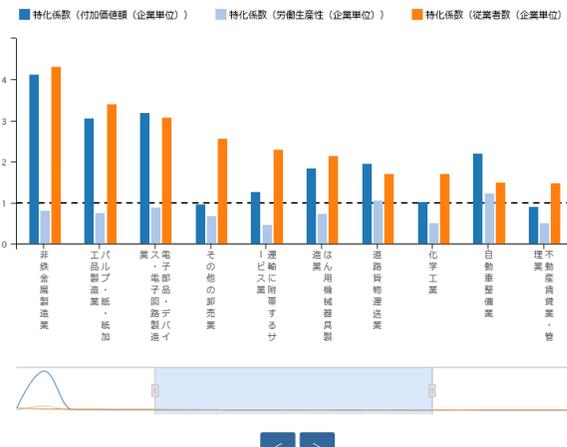
②全産業の構造

分析指定地域の企業数や従業者数、付加価値額の産業別の割合について、全国の割合等と比較ができます。



産業別特化係数 2016年

指定地域: 神奈川県厚木市



③稼ぐ力分析

産業ごとの特化係数を確認でき、地域で強みのある産業を特定することや産業ごとの課題把握に役立てることができます。

※特化係数
域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較したもの。1を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業といえる。

RESAS利用支援機能_③チャットボット

- RESASの8マップ⁸81メニューの使い方等、RESASで使用されている用語の説明について、いつでも簡易に検索が可能。
- ご意見・ご要望の投稿も可能とし、ユーザーの声を機能改善に反映。
- 搭載Q&Aの見直し・追加を定期的に行うこととし、ユーザー利便性の向上を進める。

The screenshot shows the RESAS website interface. At the top right, there is a navigation bar with icons for '提案モデル', 'ダッシュボード', 'データ分析支援', 'サマリー', and 'ヘルプ'. A chat icon is highlighted with a red box and labeled '問合せ'. Below the main navigation, the RESAS logo is displayed in large, colorful letters, with the text 'Regional Economy Society Analy' underneath. Below the logo, the text '地域経済分析システム' is visible. At the bottom, there is a banner for '地方創生★政策アイデアコンテスト 2020' with the date '2020.12.19(Sat.)' and '最終審査会 : 2020年12月19日'. A chatbot window is open in the foreground, showing a greeting 'こんにちは！' and three options: '1. マップについて聞く', '2. 用語について聞く', and '3. ご意見・ご要望'. The chatbot window is highlighted with a red border, and a red dashed line connects it to the chat icon in the top right corner of the website header.

アイデア
コン2015～

WS
2015～

研修
2018～

副教材
2019～

1. 地方創生☆政策アイデアコンテスト

RESAS等を活用して地域の状況などを分析し、地域を元気にするアイデアを広く国民の皆様から募集する。審査会を開催し、地方創生担当大臣賞、優秀賞を授与。

2. 政策立案ワークショップ

地方公共団体が主体となり、地域の多様な関係者が集い、RESASを活用した、データに基づく施策の立案、実現を推進する。各地域の経済産業局職員がこれを支援。これまでに全国で50以上の自治体で実施。

3. 地方公共団体職員向け研修

データに基づき施策立案できる職員を育成するため地方公共団体において研修。2019年度は、22の都道府県等において約3,500名が受講。

4. 副教材（RESAS de 地域探究）

RESASを活用した授業を展開するため、高等学校向けに8種のモデル授業案（副教材）を作成、**2020年3月公開**。さらに「RESAS de 地域探究実践校」を募集、授業の成果を発表するイベント等を通じて、教員間及び教育現場と地域のコミュニティを形成することを目指す。

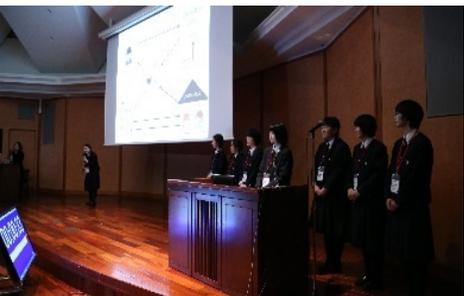
- 2015年から、RESASで地域の状況を分析し、地域を元気にするアイデアを広く募集するコンテストを開催。
- 2019年には、新たに地方公共団体の部と、経済産業局賞を設けた。応募総数は、過去最多1,115件。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響を可視化するV-RESASの活用も推奨。



石破地方創生担当大臣と受賞者全員で記念撮影



北村地方創生担当大臣と受賞者全員で記念撮影



2020年度開催計画について

- 審査部門：「高校生・中学生以下の部」「大学生以上一般の部」「地方公共団体の部」
- 授与される賞：地方創生担当大臣賞（1組×3部門）優秀賞（2組×3部門）協賛企業賞（9組×3部門）経済産業局長賞（各地方経済産業局が授与）
- 最終審査会：**2020年12月19日（土）** @中央合同庁舎8号館 講堂
※開催場所／開催方法等は、感染症の影響を考慮し、変更の可能性あり。
- URL: <https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



- 2020年3月、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、「RESAS for Teachers」で公開。
- RESAS副教材の周知と教員間のコミュニティ形成により、自律的な地域人材の育成の発展を目指す、「RESAS de 地域探究」を実施していきます。

○ RESAS副教材 概要

➤ 目的

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（歴史地理編）」にRESASが盛り込まれたことを背景に、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開し、データを通じた探究学習の普及及び地域人材の育成の強化を目指す。

➤ 教科／科目

「地理総合」、「商業（観光ビジネス）」、「国語」、「情報」、「総合的な探究の時間」

➤ モデル授業案概要

- 学習指導案
指導計画、本時の学習など（学習活動・内容、指導上の留意点、教材・資料について記載）
- 授業用スライド、ワークシート
- 実践事例

RESAS for Teachers <https://teacher.resas-portal.go.jp/>

RESAS de 地域探究 <https://tanq.resas-portal.go.jp/>

RESAS 副教材 検討委員

学校法人札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校	高石大道
学校法人品川女子学院	河合豊明
長野県松本県ヶ丘高等学校	中谷幸裕
金沢大学付属高等学校	岡かなえ
学校法人聖心学園 聖心学園中等教育学校	吉澤陽
岡山県立倉敷商業高等学校	川崎好美
徳島県立脇町高等学校	大久保邦博
学校法人川島学園 れいめい中学校・高等学校	上門大介



授業モデルを作成した先生たちに聞く
RESASの魅力とは？



総学 = 総合的な学習の時間
総探 = 総合的な探究の時間

- **地方のチェンジ・メイカー育成プログラム**【中学校 総学】【高等学校 総探】
基礎的な探究学習の教材です。身近な地域から課題を設定し、解決することを目的としたプログラムです。「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に対応しています。
- **データを根拠に意見を主張してみよう**【高等学校 情報 I 社会と情報】
データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解します。
技能を身に付け、結果の表現を含めてこれらの方法を適切に選択し、実行し評価し改善することが身につきます。
- **収集したRESASなどの複数の情報を根拠に、自分の意見をまとめて論述しよう**【高等学校 国語 現代の国語】
身近な市町村を題材にし、情報を的確に読み取る能力、自分の意見に説得力を持たせるための情報を選ぶ能力を習得します。
- **「生活圏の調査と地域の展望」でのRESAS活用**【高等学校 地理総合】
人口や産業に関して類似している自治体について、福祉・医療・観光・産業のうち、いずれかについてのデータを見つめ、地域における課題を探り、解決策を提案しよう。
- **訪日外国人の動向理解～「観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴」でのRESAS活用～**【高等学校 商業 観光ビジネス】
訪日外国人の滞在先・移動相関・消費動向などを理解し、地域における効果的なマーケティングを考察します。
- **「地方から世界へ」を考える**【高等学校 総探】
問いの規模と深さを事前に理解し、ビジネスフレーム活用して地域理解・政策立案を行います。
デザイン思考・起業家精神の向上をはかり、論理的思考力、データ分析能力を高めます。
- **理系のための探究プログラム～雇用/医療・福祉マップ 医療受給データの比較から課題設定の基礎を学ぼう～**【高等学校 総探】
2つのデータを比較から、さらなる情報の収集・整理・分析を行うことで、課題の設定の方法の基礎を学びます。
- **地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習「〇〇（市）活性化プロジェクト」**【中学校 総学】【高等学校 総探】
身近な地域に新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養います。
課題発見、情報収集、整理、考察、分析、検証を通して論理的思考を身につけます。

- 新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を可視化。**地方公共団体の政策立案や金融機関商工団体の中小企業支援をサポート**する。
- 経済の足下の状況を把握すべく、最速、**1週間おきにデータを更新**。リアルタイムに近い形で、地域経済の健康状態 Vital Signs of Economyを把握できるようにする。
- 当初は最低限の機能でスタートし、デザインや表示データは、**ユーザーの意見を聞きつつ随時改善**。今後、**新しいデータ項目の追加など、更なる利便性の向上**を予定。

現在掲載されているデータ

データ項目（前年比）	地域単位	時間単位	データ提供企業
人の流れ（人の動きの活発度）	都道府県／地点	週次	株式会社Agoop
飲食店（飲食店ホームページの閲覧状況）	都道府県／エリア	週次	Retty株式会社
決済データ（クレジットカード利用等での消費支出）	都道府県	半月次	株式会社ジェーシービー 株式会社ナウキャスト
POS（主にスーパーマーケットでの消費支出）	都道府県	週次	株式会社日本経済新聞社 株式会社ナウキャスト
宿泊施設（ホテル・旅館の予約の状況）	都道府県／エリア	月次／週次	観光予報プラットフォーム推進協議会
イベント（イベント開催やチケット予約の状況）	都道府県	月次	ぴあ株式会社
興味・関心（検索キーワード）	都道府県	週次	ヤフー株式会社



※ 掲載されるデータは、個社情報・個人情報の秘匿の観点から踏まえつつ、今後さらに細分化していくことを検討。